物流不動産Bizを支える

物流不動産Biz（ビジネス）のブランディングを推し進めるのがイーソーコグループのイーソーコドットコム。

日本最大級の物流不動産ポータルサイト「イーソーコ.com」の新たな運営会社（ASP会社）の開拓などを進める。

昨年2月には大谷巖一会長が「これからは倉庫で儲ける!! 物流不動産ビジネスのすすめ」（日刊工業新聞社刊）を出版し、全国の書店に並んだ。

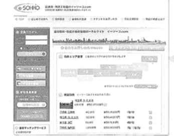
日本最大級の物流不動産ポータルサイト「イーソーコ.com」

登録されている物流不動産の情報は3万5千件（2013年2月末現在）となり、物流不動産業界では日本最大級に成長した。

2008年末は9千件だったため、この4年間で4倍近い物件登録数になった。

YahooやGoogleなどの検索エンジンで「倉庫」で検索して、上位に表示されるため、利用者も増えていっている。

物流不動産を探すときに、まずは検索をすると便利なサイトだ。　イーソーコ.com（http://www.e-sohko.com）



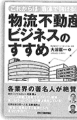
従来のイーソーコのシステムの保守・運用にも力を入れていく。

第4刷まで増刷繰り返す
「これからは倉庫で儲ける!!物流不動産ビジネスのすすめ」

昨年2月に出版して1年が経過。その間、増刷を重ね第4刷まで出版された。

物流企業向けの内容だったが、金融や不動産、建設など、物流不動産Bizにかかわる多くの人が購入し注目された。

内容は、これから物流不動産Bizを始めるための入門書となっている。本の発刊とともに物流不動産Bizの半年間の長期研修プログラムも開始し、本で書かれているとおり、1社につき20代の若手2人を受け入れている。



倉庫のIT化を総合で提案

倉庫、事務所の状況をリアルタイムに分かるWebカメラの販売と運用パッケージは好調だ。

Webカメラは、セキュリティのほか、社員の管理、評価にも活用できる。また、取り付けた後の運用にまで踏み込んでいる。

誰が見て、どのように管理を行っていくのか？

人事評価につなげていくのか？

そのルールも決めていく。

早崎社長は「ただカメラを取り付ける工事はだれにでもできる。
そこまでのサポートがあって、
はじめて差別化した提案ができる」とする。

Webカメラは社員の管理評価に役立ち、管理者からの評価は高い

倉庫が輝くリノベーション

イーソーコグループで力を入れているのが、倉庫リノベーション事業だ。

メガ倉庫の大量供給による玉突き現象により、空きが発生した中小規模の倉庫に対し、物流以外の用途としての活用を提案する。

天井高の高さ、柱間隔の広さといった倉庫の良さを活用し、オフィスや会員制ショールーム、撮影スタジオなど多様な活用が可能になる。

オフィスビルにない大空間は、創造的な空間を生み出し、倉庫に物流用途以外の需要を創出するのに成功している。